

序

能開訓練の機能の改善を図ってゆくためには、受講者の年齢、学歴、職歴、希望意識などを知ることがまずその前提となる。

職種系ごとの受講者の特性を明らかにすることを狙いとする本調査の結果は、職種設定に際してそれが主にどのような階層向けのコースであるかを判断する一つの手がかりになろう。又、一口に能開訓練といっても受講者の構成によって受講者の訓練に対する期待意識に大きな違いのあることが理解されよう。

本調査研究は、中高年プロジェクト研究の一環として訓練需要研究室（現在訓練教科方法研究室）富田研究員が分担した。本調査は、能開訓練修了者及び修了者受入先企業に対する追跡調査と対をなすべきものと考えており、後者についても近く実施する予定であるが、調査視点、内容等について御意見をお寄せ頂ければ幸である。

基礎研究部長

泉 輝 孝

能開訓練受講者の職歴と意識

調査協力校

小杉高等技能学校

大宮高等職業訓練校

市原高等技術専門校

中野高等職業訓練校

大塚高等職業訓練校

王子高等職業訓練校

お茶の水高等職業訓練校

品川高等職業訓練校

亀戸高等職業訓練校

赤羽高等職業訓練校

武蔵野高等職業訓練校

八王子高等職業訓練校

立川高等職業訓練校

鶴見高等職業訓練校

藤沢高等職業訓練校

横浜高等職業訓練校

川崎高等職業訓練校

相模原高等職業訓練校

一宮職業訓練校

岡崎職業訓練校

高浜職業訓練校

美濃加茂高等技能專門校

松原高等職業訓練校

堺高等職業訓練校

東淀川高等職業訓練校

埼玉総合高等職業訓練校

千葉総合高等職業訓練校

神奈川総合高等職業訓練校

愛知総合高等職業訓練校

大阪総合高等職業訓練校

高知総合高等職業訓練校

研究担当者

富田康士